

母塾

2019・7・16

VOI・23

新小岩幼稚園・未就園児クラス



illustrated by kurumi

『子どもは悩んでいない』

アドバイザー 猪之鼻晴子

先日の未就園児。遊びの会の座談会。

1. 2. 3才児のママとパパが雨の中20名ほど参加して下さった。
少しでも子どものためにと動いているだけで、もうすでに良きパパ・ママなのだ。
それでもみなさん順にお聞きすると悩みは尽きない。20通りの悩みが出てくる。
「オムツが外せなくて」「兄弟げんかが絶えない」「偏食で困る」「食べ過ぎて困る」
みなさん成長する子に応じた日々の悩みを抱えている。

でも、当の子どもは悩んでいるだろうか。

「ぼく、3か月経つのにまだおもらしちゃう。どうしよう。」
「弟と仲良くしたいのに、ついついケンカして泣かしちゃう。」
「本当は野菜も食べなきゃいけないのに、どうしても食べられない。」
「食べ過ぎちゃうと、太っちゃうな。」

そうやって悩むだろうか。まったく立ち止まることなく突き進んでいる。

中学生は「勉強もしなきゃいけないのに、どうしてもゲームをやめられない。」
高校生は「髪型ばかり気にしちゃう。そろそろ将来のこと考えなきゃ。」
なんてまったく思ってもいない。この子、大丈夫なのかな？と悩むのはいつも親なのだ。

悩みは悩んでいるひとの問題。

自分が何かに悩んでいるとしたら、自分が変わるしかない。

変わる → ① 自分の行動・ことばかけを変える ② 自分の気持ちを変える

自分が何について悩んでいるのか？悩んでいるということは不安があるということ。

その不安とは何だろう。「このままじゃ、この子が心配。」ということ。

実は私たちは「今」に困っているのではなく、「先の不安」に困っているのだ。

「いったい、いつオムツが取れるのか」「兄弟げんかがエスカレートしたら。」

「このままじゃ、給食を残すのでは。」「このままじゃ、ずっと勉強しないのでは。」

そうやって先の心配をしても悩みは増す一方なのだ。

やっぱり、おとなも「今」「今日」に目を向けるしかない。

今、目の前のことを解決していく。昨日ダメだったら、今日は何かを変えてみる。

補助便座がイヤならオマル、パンツも柄を替える、声掛けのタイミングを替える。

最初の盛り付けが多すぎるのか、メニューを替えてみようか。

日々、あの手この手で工夫をしてみる。今を替えていけば悩む時間がないのだ。

子どもは悩んでいないのは、きっと毎瞬毎秒を工夫しているのだろう。

「どうやったら、この三輪車、次に使えるかな。」悩んでいる時間なく、次に行っているのだ。

harukoinohana1717@gmail.com